

あそびのしじい



負けた人だけが
勝った列の後ろに移動

慣れた遊びに一工夫

ジャンケン列車

よく知っている遊びをする遊びでも、どこかにちょっと場合、多少の不満があっても変化を加えるだけで楽しさが「まあまあ」と全体の流れで倍増することがありますよ。終わることはありませんか。時には、遊びを教える側の人けれど、みんなが知っているも一緒に遊んで遊びの輪に入

り、今やっている遊びの根本的な楽しさとは何かと考えるみると、新しい楽しみ方が見つかるかもしれません。まずは、みんなが慣れ親しんだ遊びから少しずつ工夫して変化を加えてみましょう。

【人数】10人以上

【場所】どこでも

【道具】なし

【遊び方】①まずは近くの人とジャンケンをする。負けた人は勝った人の後ろに回り、両手を勝った人の両肩に置く。これで1連結。

②続いて、連結の先頭の方は、別の連結の先頭の人とジャンケン。通常は、負けた連結の人たちが勝った連結の後ろに吸収されるが、ここからが今までのルールと違う。今回は、ジャンケンに負けた人だけが勝った列車の最後尾に移動する。

③このルールでは、一度負けても、先頭になるチャンスが何度も回ってくる。

④指導者の「やめーっ」の合図でゲーム終了。

⑤その時、先頭の方の後ろに何人続いているか、あるいは、最初にグループ分けをして、どこのグループの人が一番多く先頭になっているかなど評価の基準をみんなで考えて、拍手を送る。

⑥慣れてくると、同じ列でグルグル回ることがあるので、同じ列とは2回ジャンケンしたら別の列とジャンケンをするようにしよう。

九州あそびの研究所・中島宏所長
問い合わせは092 (882) 0363